

観光情報基盤構築事業委託業務 質問に対する回答

番号	資料名	該当頁	質問内容	回答	公表日
1	企画提案指示書	1	現行で存在するWEBサイト（UI ユーザーインターフェース）や希望するUIイメージ等はあるのか	「おきなわ観光地域カルテ」（ <a href="https://areakarte.ocvb.or.jp/">https://areakarte.ocvb.or.jp/</a> ）を人流データのイメージとして考えており、本事業では人流データだけでなく消費データと組み合わせ、誰でも検索・分析できるサイトを構築することとしている。	2026/4/8
2	企画提案指示書	2	現行で存在する北海道オープンデータプラットフォーム（ <a href="https://pf.hoda.jp/">https://pf.hoda.jp/</a> ）で不足する部分があるのか。また、希望するUIイメージ等はあるのか。	現行する北海道オープンデータプラットフォーム（ <a href="https://pf.hoda.jp/">https://pf.hoda.jp/</a> ）とは別に本事業では路線バスの運行ダイヤ等の交通情報等を格納し、AIが回答を生成する際、参照されるようにしたい。またデータの更新についても、各事業者や業界団体から更新データを受取り、随時更新ができる運営体制や仕組みづくりをお願いしたい。	2026/4/8
3	企画提案指示書	2	北海道公式観光サイトHOKKAIDO LOVE！（ <a href="https://www.visit-hokkaido.jp/">https://www.visit-hokkaido.jp/</a> ）のサイトの再構築に関するイメージはどんなものか。	現行の北海道公式観光サイトHOKKAIDO LOVE！のWEBサイト構成は残したまま、WEBサイト内のコンテンツについて、AIが回答を生成する際、参照されるようにしたい。	2026/4/8
4	企画提案指示書	3	北海道観光統計サイト（ <a href="https://statistics.visit-hokkaido.jp/">https://statistics.visit-hokkaido.jp/</a> ）内の統計データを活用し、機能追加を図るイメージか、また、新規でWEBページの構築をするイメージか。	現状、WEBサイト内にあるデータはPDF形式ファイル等、AIが参照しにくいデータ形式の情報が格納されている。AIへ必要とする統計データについて問い合わせを行えば、最適な統計データが提示されるようなものをイメージしている。	2026/4/8
5	企画提案指示書	2	14振興局で実施する構築するサイトを活用したマーケティング手法の勉強会（基礎編・応用編）は誰に対し、どのような内容を意図しているのか。	地域で観光施策を考える際、マーケティング人材が不足しているとの声が多く聞かれることから、DMOや観光協会といった地域の観光に携わる方々に向けた情報基盤を利用して観光戦略を検討できるような研修を考えている。	2026/4/8
6	企画提案指示書	1	ランニングコストはどのようなものが発生する想定か。	情報基盤へ格納する各種データの入手や外部データ連携、情報基盤そのものの維持コストを想定している。情報基盤への機能追加については、別途、予算を計上し対応する予定。	2026/4/8
7	企画提案指示書	1	消費データ等は作成した情報基盤に対して継続的に提供する形になると思うが、データを閲覧する人は北海道庁以外に誰を想定しているのか。	マーケティングデータのサイト構築なので一般公開可能なものを作る。対象は道、市町村、観光協会・団体、宿泊団体・事業者、新規参入者、道民など制限を設けない。ただし、一般公開できないものがある場合は、そういう提案をして欲しい。	2026/4/8
8	企画提案指示書	1	人流データや決済データの使用方法はどのようなことを想定しているのか。	地域経済の活性化に向けた使用を想定。「北海道観光のくにつくり行動計画」でも観光消費額の上昇を目標としているため、マーケティングサイトを使用して季節偏在の平準化など、エビデンスに基づいた取組の支援としたい。	2026/4/8